

英語シラバス 高校2年

1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) 論理・表現Ⅱ	2単位	第2学年	• Standard Vision Quest English Logic and Expression I (新興出版社啓林館) • Standard Vision Quest English Logic and Expression I Workbook (新興出版社啓林館) • Ace Vision Quest English Logic and Expression II (新興出版社啓林館) • Ace Vision Quest English Logic and Expression II Workbook (新興出版社啓林館) • Vision Quest 総合英語 (新興出版社啓林館) • Vision Quest Insight 英文法・語法・熟語問題集 (新興出版社啓林館)
学習の到達目標	(1) 話すこと 日常的・社会的な話題についてディベートやディスカッション等の活動を通して、多様な語句や文法を用いて、意見や主張、課題の解決策などを論理の構成や展開を工夫して詳しく話して伝え合う力を身につける。 (2) 聞くこと 授業内で、様々なテーマの教材の問いに答えたりモデル会話やスピーチを聞いたりして、会話の中で理解する能力を養う。 (3) 書くこと 「名詞と冠詞」「主語と動詞の呼応・時制の一致」「英語の情報構造」「前置詞」「ポライトネス」「コミュニケーションのためのストラテジー」のテーマで、書く際に役立つ英文の知識を身につける。作文課題を通して英語で書く作業に慣れる。		
評価の観点	《知識・技能》 英語の特徴やきまりに関する事項を理解しているか。また、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能や、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝え合う技能を身に付けているか。 《思考・判断・表現》 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を受け取り、話の展開や伝え手の意図、概要、要点、詳細を捉えているか。また、論理性に注意して話し、書く際には複数段落を用いて詳しく伝えているか。 《主体的に学習に取り組む態度》 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に英語で伝えようとする姿勢を身につけているか。		

【定期考査における観点別評価について】

年間5回の定期考査において、問題ごとに《知識・技能》《思考・判断・表現》の2観点における評価を行い、点数化し、評定算出の基本資料とする。

【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

A：「十分満足できる」状況と判断されるもの・・・100%

B：「おおむね満足できる」状況と判断されるもの・・・80%

C：「努力を要する」状況と判断されるもの・・・60%

D：未提出，未実施・・・0%

2. 学習計画及び評価方法等

※教育的効果を考え、事前に生徒に説明した上、扱う教材・内容を変更することもある。

	単 元	学習のねらい	学習のポイント，使用教材等
1 学 期 中 間 考 査 ま で	VQ I より Lesson 11 国際問題 Lesson 12 社会問題	比較や仮定法のような使い方や働きを理解する。また、それらを使用する場面を想定して適切に書いたり話したりする表現力を身につける。	比較 仮定法
1 学 期 期 末 考 査 ま で	VQ II より Lesson 1 Future Goals Lesson 2 School Life	- 文中の様々な形式の主語を理解する。また、日本語との構成の違いを認識した上で、英文の中で書いたり話したりする表現力を身につける。 - 自動詞と他動詞、群動詞の使い方を理解する。また、それらを適切に書いたり話したりする表現力を身につける。	様々な主語 自動詞と他動詞 Lesson 1 Expressing Lesson 2 Expressing
2 学 期 中 間 考 査 ま で	VQ II より Lesson 3 Sports Lesson 4 Information Age	- 時制の使い方を理解する。また、適切な時制を使用して書いたり話したりする表現力を身につける。 - 様々な助動詞の表現を理解する。また、様々な場面で適切に助動詞を使用して気持ちや判断を伝える表現力を身につける。	時制 助動詞 Lesson 3 Expressing Lesson 4 Expressing

2 学 期 期 末 考 査 ま で	VQⅡより Lesson 5 Environmental Issues Lesson 6 Cultures	・形容詞や分詞、不定詞、関係詞などを使用した様々な形容詞的修飾表現を理解する。また、それらを適切に使用して書いたり話したりする表現力を身につける。	様々な形容詞的修飾 (形容詞・分詞・不定詞) 関係詞 Lesson 5 Expressing Lesson 6 Expressing
3 学 期 期 末 考 査 ま で	VQⅡより Lesson 7 Language Education Lesson 8 Society	・副詞や不定詞、分詞構文などを使用した様々な副詞的修飾表現を理解する。また、それらを適切に使用して書いたり話したりする表現力を身につける。 ・直接話法と間接話法の違いと役割を理解する。また、それらを様々な場面で適切に使い分ける表現力を身につける。	様々な副詞的修飾 (副詞・不定詞・分詞構文) 直接話法と間接話法 Lesson 7 Expressing Lesson 8 Expressing

【成績評価の概要について】

- (1) 学期における評価の対象
 - ① 定期考査：《知識・技能》
 - ② 作文・発表等：《思考・判断・表現》
 - ③ 提出課題等：《主体的に学習に取り組む態度》
- (2) 学期評定の算出方法
定期考査の素点を中心に、作文や発表等の表現活動、課題の提出状況を学期の実施状況に合わせて割合を定めて多面的評価を行う。
- (3) 年度末評定の算出方法
年間を通した定期考査の素点を中心に、作文や発表等の表現活動、課題の提出状況を年度の実施状況に合わせて割合を定めて多面的評価を行う。